

令和2年度 第5回大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議
書面会議参加者からの意見・質問一覧

1 ウェブ会議・書面会議の併用

令和3年2月8日（月）開催の「令和2年度第5回大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ウェブ会議と書面会議の併用にて開催することとなった。

書面会議参加の委員には、意見書の提出を依頼した。提出のあった意見、質問は次のとおりである。

2 各委員からの意見

以下に、各委員からいただいた意見をまとめる。

	資料番号	ご意見
1	3-3章	35 ページ以降の地域カルテについて、「地域づくりへの参加意向」のグラフ④で「すでに参加している」の回答結果は、「ぜひ参加したい」「参加しても良い」の属性に含まれるものであると思います。したがって、「参加したくない」の後に表記するのは違和感があります。
2	3-4章	128 ページの評価指標について、まずは実践していくことが大切です。しかし、ただ単に参加数や回数の達成に偏ることがないように注意する必要があります。個々の目標をクリアすれば、地域包括ケアの実践と地域共生社会の実現ができるものではないと思います。課題の解決が図られたか、施策の方向性をきちんと実践できたかを判断することを忘れないようにしたいです。区民の満足度を測る指標があるとよいですが。
3	3-4章	シニアクラブの活性化について 高齢者人口の増加とは反対にシニア会員数は減少傾向です。活性化・会員数の減少対策としては、役員の若返り及び単会クラブ活性。 活動のあり方 クラブ内で人気のある活動種目は団体よりも個人で活動できる種目で、習字、手芸、折紙、写真等で、運動でも、ゲートボールよりグランドゴルフに人気があります。
4	4	普及版は、いただいた資料が白黒では感じが掴めなくて評価できませんでした。

3 各委員からの質問

以下に、各委員からいただいた質問をまとめる。

	資料番号	ご質問
1	2	総合事業関連のパブリックコメントについて、段階的ではありますが要介護1、2の方への利用拡大は、将来この方々が介護給付から外れることを示唆しています。現在の総合事業関連の資源量は適正と考えていますか。また、今後推進していくには、サービス提供事業者への負担は大きいと思います。
2	2	個々の介護支援や生活課題を地域課題に寄せていく仕組みである地域ケア会議は実践されていますが、広がりや成果を実感できないのです。どこに問題点があると大田区はとらえているのでしょうか。
3	3-3章	各地域保活支援センターが地域カルテの《〇〇地域の課題と取組》作成にあたってどのような方法で地域把握と地域診断をしたのかお聞かせください。